

## ヘルパンギーナ

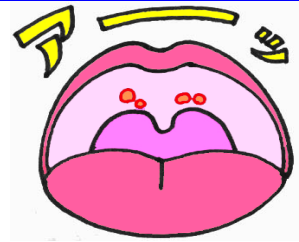


代表的な夏かぜ。種々の夏かぜウイルス、特に「コクサッキーウイルス」に感染して、熱とノドの痛みが起こる病気です。

潜伏期間：2～7日間

患者年齢：乳児から4歳までに多い病気です。

感染経路：飛沫あるいは接触感染



口蓋垂（のどちんこ）の付根付近に水疱や潰瘍ができます。

《**症状**》 38℃から40℃の突然の高熱と咽頭痛が始まり、3～5日間続きます。咽頭痛に伴う食欲不振、よだれ、高熱と脱水症に伴う倦怠のほか、嘔吐や関節痛、筋肉痛、発疹を認めることもあります。

《**診断**》 症状と特徴的な診察所見から診断します。

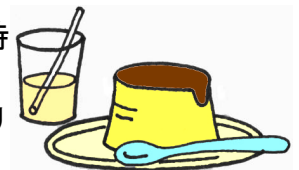
《**治療**》 特効薬はありません。解熱剤などの対症療法が主になります。ときに脱水症のため入院が必要になります。

《**予防**》 うがいや手洗いをしっかり行い、病気のお子さんのおむつ替えやトイレの後の手洗いも十分にも気を配ってください。

《**合併症**》 普通は予後の良い病気ですが、しばしば熱性けいれん、ときに髄膜炎、耳下腺炎を起こすこともあります。

### ※家庭での注意点※ ~ ~ ~ ~ ~

- ・ 高熱が何日も続くので心配になりますが、あまりにきつそうな時は解熱剤を使用し、部屋を涼しくして寝かせておくことです。
- ・ のどの痛みや高熱でしばしば食欲がなくなります。プリンやゼリーなどのど越しのよいものを与え、下痢がなければアイスクリーム、ジュースや牛乳を与えても構いません。脱水症の予防に、水分はいつもより多く与えてください。1回に多く飲めなければこまめに回数を分けてあげてください。スープ類など塩分の入った飲み物も勧められます。熱いもの、酸っぱいものは口内炎にしみて痛がりますので避けましょう。
- ・ 入浴は、ある程度熱が引いて、元気が出てきてからにしましょう。



「こんなときはもう一度診察を！」



「学校・幼稚園・保育園は？」



- ・ 水分が取れず、ぐったりしてきた
- ・ 他のこどもにうつさないように休ませます
- ・ 熱が下がって元気がよくなったら登校できます。